※令和３年度以前入学生用

学校番号	３００７

令和５年度　工業科（機械科）

教科	工業	科目	電気基礎	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	実教出版　精選電気基礎　新訂版						
副教材等	なし						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

オームの法則・ジュールの法則・キルヒホッフの法則・ファラデーの法則・クーロンの法則などの、電気現象にかかわる法則に関する知識を身に付けさせる。それらの法則を式で表したとき、その式を用いた計算などの知識を身に付けさせる。

２　学習の到達目標

電気に関する知識と技術を習得させて、実際に活用する能力と態度を育てる。

３　学習評価（評価基準と評価方法）

観点	a：関心・意欲・態度	b：見方や考え方	c：技能	d：知識・理解
観点の趣旨	五つの法則の現象について関心をもち、取り組んでいく意欲を身に付けさせる。	電気に関する基礎・基本の知識を身に付けさせる。	正しく電気の計算ができるよう技術を身に付けさせる。	電気の基本・基礎となる直流回路や電流や磁気などを理解させ、電気の重要性や役割なども理解させる。
評価方法	授業態度の確認 授業ノート提出 確認テスト 定期考査 授業中の発言	授業態度の確認 授業ノート提出 確認テスト 定期考査 授業中の発言	授業態度の確認 授業ノート提出 確認テスト 定期考査 授業中の発言	授業態度の確認 授業ノート提出 確認テスト 定期考査 授業中の発言

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和３年度以前入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元（題材）の評価基準	評価方法
			a	b	c	d		
1学期	直流回路・電気磁気	・電気回路の電流と電圧 ・電気回路の計算 ・電流の化学作用と電池	○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○	オームの法則を理解する。 原子核と電子の関係を理解する。 ファラデーの法則を理解する。	・授業態度の確認 ・授業ノート提出 ・確認テスト ・定期考査 ・授業中の発言
2学期	直流回路・電気磁気	・磁石と磁気 電流による磁界	○	○	○	○	クーロンの法則を理解する。 磁気回路	・授業態度の確認 ・授業ノート提出 ・確認テスト ・定期考査 ・授業中の発言
3学期	交流回路と静電気	・コンデンサ ・交流回路	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	静電容量 周期と周波数	・授業態度の確認 ・授業ノート提出 ・確認テスト ・定期考査 ・授業中の発言